被災地の子 すこやかに

ネットの買い物で支援　ウェブベルマーク

一輪車で心一つ　岩手・重茂小

東日本大震災から5年。東北の被災地では、いまだに仮設校舎などでの授業が続いています。協賛会社のショッピングサイトで買い物をすることで、被災した学校を支援できる「ウェブベルマーク運動」では、子どもたちの学校生活を応援しています。

（2月29日付朝日新聞から。肩書きなどは取材当時）

仮設校庭で一輪車に乗る重茂小の子どもたち

岩手県宮古市の東に位置し、太平洋に突き出た重茂（おもえ）半島にあるのが、同市立重茂小学校（児童98人）だ。東日本大震災では、校舎の被害は少なかったが、海沿いの丘陵地にある校庭の約3分の2には、いまも仮設住宅が並ぶ。

雑木林を削って約30メートル四方の仮設校庭が造られたが、2014年に近隣の鵜磯（ういそ）小、千鶏（ちけい）小が統合。児童数が増え、思い切り運動するのは難しかったという。13年に赴任した阿部真一校長は「子どもたちは屋内や体育館に引きこもりがちになり、体力が落ちていた。外に引っ張り出したかった」と振り返る。

注目したのが、千鶏小で盛んだった一輪車だ。狭い場所でも、子どもたちに楽しく運動してもらえる。一輪車クラブが中心になって練習を重ね、できるだけ多くの児童が乗れるよう取り組んでいる。部長の畠山愛深（まなみ）さん（6年）は「みんなで練習すると心が一つになる」と言う。

ベルマーク教育助成財団は今年度、ノーパンクタイヤの一輪車11台の支援を受けた。阿部校長は「学校予算ではすべてをまかなえない。ウェブベルマークは画期的な仕組みで、期待している」と話す。

ウェブベルマーク運動

公益財団法人ベルマーク教育助成財団、博報堂、博報堂ＤＹメディアパートナーズ、タグボート、朝日新聞社が2013年に設立した「一般社団法人ウェブベルマーク協会」（理事長＝小鳥敏郎・青山学院大教授）が運営している。ウェブベルマークのサイトを経由して、協賛会社・協力サイトのショッピングサイトで買い物やサービスを購入すると自己負担なく、ショップごとに購入金額の一定割合の支援金がウェブベルマーク協会に支払われる。ウェブベルマーク協会は、その支援金をベルマーク財団に送り、ベルマーク運動の資金と合わせて、被災校支援に充てられる仕組みだ。

縄跳び記録会で元気に運動する金房小の子どもたち

投げ 跳び 歓声　福島・金房小

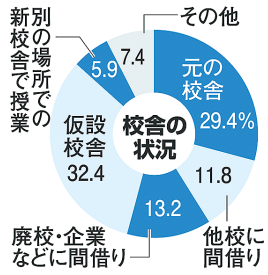
ベルマークの被災校支援で、投てきフォームの練習になる「フォームロケット」や、衝撃が柔らかい「ソフトドッジ」と呼ばれるボールを購入したのは、福島県南相馬市立金房（かなぶさ）小学校だ。

同市小高区にあった同小は、東京電力福島第一原発の20キロ圏内にあった。現在は同市鹿島区の中学校校庭にある仮設校舎で、同じ小高区にあった福浦小、鳩原（はつばら）小の子どもたちと学ぶ。

3校で65人の児童がおり、休み時間にはドッジボールや鬼ごっこなどで遊ぶことを勧めている。授業では秋はマラソン、冬は縄跳びに力を入れる。金房小の遠藤俊一校長は「福島県では、幼い時に体を動かして外で遊ぶ習慣が身につかなかった」と話す。

訪れた日は縄跳び記録会が開かれ、仮設体育館に子どもたちの歓声が響いた。記録会の前には福島県の運動身体づくりプログラムによる準備運動で、フォームロケットを投げ、縄跳びに備えた。遠藤校長は「ボールなどの消耗品はなかなかそろえられない。ベルマークの支援を有効に活用させてもらっている」と言う。

ベルマーク財団の被災校支援では、2015年度までに延べ1346校に総額4億735万円相当の教育設備品、教材、バス代支援などが行われた。これにウェブベルマーク運動の支援金が活用されている。



仮設校舎 なお3割

ベルマーク教育助成財団が2015年度に支援した岩手、宮城、福島3県の小、中学校へのアンケートで、校舎が被災し使えなくなった学校の32・4％がいまも仮設校舎で生活を送っていることがわかった。

アンケートは1～2月にウェブベルマーク協会がベルマーク財団と共同で行い、158校のうち132校から回答を得た。現在の教育環境については、震災で校舎が使えなくなった68校のうち、震災前の校舎で学習しているのは29・4％にとどまり、57・4％が仮設校舎や他校に間借りしたり、廃校になった校舎を利用したりするなど、いまも厳しい環境が続いていた。

また回答のあった132校のうち、24・2％の学校で敷地内に体育授業やクラブ活動に使える運動用敷地（校庭）がなかった。校庭に仮設住宅がのるなどして、他校の校庭や近隣の公共施設、仮設グラウンドを使って運動していた。

（2月29日付朝日新聞から。無断転載を禁じます）

皆様ありがとうございました

一般寄贈マーク

2月4日から3月20日までに届いた分

▼北海道　舘岡隆・直人　山下雅智子▼福島県　小林利子▼茨城県　鈴木詠子▼群馬県　高橋美寺沢をる　神藤美津子　前橋市立天神小学校5年1組有志▼埼玉県　ASA戸田東部　朝霞市立第七小学校5年3組一同　川越友の会　佃正恵　成田端江▼千葉県　上田ちゆ　江頭由紀美　加来登志子　亀田優子　小中台南小学校　千葉県中古自動車販売協会会長宮崎登▼東京都　RDN労組　青木美恵子　有馬信子　泉順子　伊藤千鶴恵　岩崎節子　岩野雅子　葛西美沙子　株式会社かんぽ生命保険　株式会社ジェイ・シー・スタッフ　河合典子　麹町小学校PTA文化委員会　児玉満由美　清水裕子　宗教法人一貫道天慈壇　須永雄斗　竹山清子　田代道雄　達川佑香　田中広幸　中田ヤス　日本キリスト教団経堂緑岡教会　堀江智子　堀川貴人　堀澤淑江　マスコミ文化協会　武蔵野はあば　八洲電機株式会社総務部総務　課　ヤマトオーワークス株式会社　吉野子　鶴子　一主婦　枝広智恵子　越水千枝子　後藤八穂子　東芝ライテック株式会社▼石川県　高橋京子　明治安田生命保険相互会社福井支社▼長野県　木祖村立木祖小学校▼岐阜県　小澤有紀高山市立朝日小学校▼静岡県　アイスター商事代理店杉山三市社会福祉協議会収集物整理ボランティア「金の砂一」　坂西遵香代子　畠中将也　みのりようちえん▼愛知県　第一生命保険株式会社収納保全サポート課　SBJ銀行名古屋支店　藤原保お茶処菜笑　金岩重子　馬場美由紀　日進東中学校　藤田保險衛生学坂文種報徳會病院　宮崎千晴▼京都府　福田純子▼大阪府　上枝美弥子　京セラドキュメントソリューションズ株式会社会員献委員会　ジブラルタ生命保険株式会社なんば支社▼人見　藤井治子　松本由美子　箕面校ヶ丘幼稚園　指宮市シルバー人材センター　萩野智子　福田登二枚　舟橋順子▼奈良県　山中肇▼岡山県　妹尾洋子　児島マリンソール　天満屋ストア労働組合　鳥越多美子▼広島県　和泉春恵子▼山口県　河村千恵子▼香川県　高松短期大学秘書科▼愛媛県　菊地美紀　高井アリサとその友達　なごみのくに株式会社　目崎忠好▼福岡県　岩武博子　ガールスカウト福岡県第9団　北九州市立高槻小学校▼佐賀県　鶴田元子　高橋亜樹　坪内みえ　日立化成オートモーティブプロダクツ株式会社OH！しゃべり隊一同▼長崎県　重富規子▼大分県　朝日新聞中津南部売店大分県朝日会　上坂美智代▼鹿児島県　安納小学校▼加藤　無記名＝28件

大震災寄贈マーク

▼岩手県　多田香織　フードパワーセンターバリューみずさわ店　NPO法人こぽ　メイプル4Fサービスカウンター　山影紀子▼宮城県　チバ▼茨城県　鈴木詠子▼栃木県　相良奈緒　酒井由子　那須塩原市立東原小学校　斎藤美奈子▼群馬県　安中市立九十九小学校児童会　高崎トーヨー住器株式会社▼埼玉県　伊藤拓夢　さぎの森小学校　柴崎麻瑛　末永容子　矢嶋英恵▼千葉県　阿部　内山美登里　小田原秀子　佐藤マサ子　重田百合子　関田元子　高橋　高橋美幸　藤枝瑞　ホテルフランクス　篠崎ユウ子　渡辺孝子▼東京都　N TTデータカスタマーサービス株式会社首都圏支社　センチュリーメディカル株式会社環境委員会　JYJへの愛をささやく　NH出版　足立区立竹の塚中学校　阿部磨子　井上恵里子　今井　大久保千秋　株式会社三越伊勢丹ロバティ・デザイン　川嶋幸恵　小山智子　作山　佐藤京子　新東京郵便局有志　住友不動産建物サービス株式会社マンション会計センター　田口薫　立川市立立川第三中学校生徒会　多摩南部朝日会　津村友佳子　練馬区立大泉南小学校6年4組　東京ワイズメネット会一同　中林繁治　中村月美▼石川県　日本基督教団小金井緑町教会　パイオニア株式会社法務・リスク管理部CSR・環境推進室　橋本和秀　原田幹事務所　向美恵子▼福井県　むさしの学園小学校　真岡市立亀山小学校4生会　渡邉豊▼神奈川県　ASA二俣川　飯田美和子　岡部美和子　柿沼恵子▼加藤美和　坂巻順子　湘南新聞取務株式会社　職場有志一同　新村美津子　関田元子　千葉陽子　横浜ほうゆう病院　吉田伸太郎　米倉愛子▼富山県　株式会社池田模範堂　中山舞▼石川県　PFUクリエイティブサービス株式会社経理サービス部一同　素都桂子▼福井県　伊勢章君▼山梨県　南アルプス市立白根百田小学校　大村　校　立正佼成会多治見支部▼静岡県　石橋直也　伊藤八重子▼岐阜県　伊藤愛紗　杉本えつこ　中津川市立苗木小学校　小笠原留美子　かいぐんや　株式会社佐藤建設▼愛知県　伊藤操　金山保育園　株式会社魚国総本社名古屋本部安全衛生環境部　幸田中学校　杉浦　宮崎峰子▼三重県　石倉由賀　伊勢市立五十鈴中学校▼群馬県　川崎久江▼京都府　竹村優利佳　野田美奈子　八木秀子▼大阪府　JA共済連大阪センター職員一同　奥田立子　株式会社ドコモCS関西総務部共通業務支援センター　山口律子　久保田惠子　ジブラルタ生命保険株式会社なんば支社　井辻安紀子　松本佐世子　松本佐代子　溝川貴志　百島基▼兵庫県　FCTERRAサポーターズの会（一語一笑）　福崎小学校▼岡山県　吉村菜穂子▼奈良県　宮崎伸嗣▼鳥取県　寺谷淑子▼岡山県　倉敷市西中学校　玉置宏史　上田仁美▼広島県　安達敬子　倉敷市西中学校　合同会社ジッチ琴浦北小学校児童会　山田紗季▼愛媛県　ユウハッピー福岡県　NPO法人城下町ミロク会計人会　九州労働金庫労働組合本部支部　髙橋薫▼山口県　永光顕正　八津田小学校　九州労働金庫労働組合本部支部　髙橋薫蛸野正人　宇佐市市民図書館　三根和彦▼長崎県　中辻安紀子▼宮崎県　都城庭クラブ▼大分県　宇佐市市民病院内中部小学校▼宮崎県　鹿屋市立庄内小学校▼鹿児島県　県立財部高等学校生徒会　鹿屋市立姶良中学校▼九州労金労働組合大分会　佐藤良枝▼沖縄県　宜野湾小学校▼無記名＝21件

6面から続く

反響援助申し込み

1月1日から1月31日までに申し込んだ分

▽宮城県　第一幼稚園（白石市）　新田小（登米市）▽埼玉県　常盤北小（さいたま市浦和区）　栄和小（さいたま市見沼区）　潮北小（八潮市）　大砂土東小（さいたま市岩槻区）▽千葉県　千葉市稲毛区）▽東京都　富士見丘小（昭島市）▽神奈川県　北大和小（久喜市）▽千葉県　千葉市稲毛区）　東山田小（横浜市都筑区）　東山田小（横浜市都筑区）　清泉女学院中学高等学校（鎌倉市）▽富山県　定塚小（富岡市）▽長野県　東部中（伊那市）▽岐阜県　岐阜北高（岐阜市）▽静岡県　中部小（浜松市東区）▽愛知県　中野学園オイスカ高（浜松市西区）▽滋賀県　瀬田中（大津市）▽兵庫県　浜の宮小（加古川市）東灘合小（神戸市須磨区）▽奈良県　青和小（奈良市）▽岡山県　大塚小元小（岡山市北区）▽広島県　大竹土東小（大竹市）▽広島県　長崎県（広島市安佐南区）▽愛媛県　土居小（西予市）▽長崎県諫早小（諫早市）

2月1日から2月29日までに申し込んだ分

▽北海道　鬼志別小（猿払村）▽青森県　八戸めぐみ幼稚園（八戸市）▽山形県　寒河江小（寒河江市）天童南部小（天童市）▽栃木県　緑が丘小（宇都宮市）▽千葉県　並木小（我孫子市）▽東京都　ファチマのマリア幼稚園（世田谷区）恵泉女学園中学高等学校（世田谷区）▽神奈川県　汐見台中（横浜市中区）桂台小（横浜市栄区）▽富山県　若葉幼稚園（富山市）呉羽小（富山市）▽山梨県　塩山高（甲州市）▽長野県　赤穂南小（名務原市）▽静岡県　城内中（静岡市葵区）▽愛知県　石尾台小（春日井市）朝日中（刈谷市）野田中（田原市）豊浜中（南知多町）▽三重県　四郷小（伊勢市）▽滋賀県　晴嵐小（大津市）虎姫小（長浜市）▽大阪府　千里たけみ小（吹田市）▽兵庫県　尼崎市）榎列小（南あわじ市）▽大分県　豊府小（大分市）狭間小（由布市）

3月1日から3月31日までに申し込んだ分

▽茨城県　江戸崎小（稲敷市）　羽黒小（桜川市）▽千葉県　祇園小（木更津市）▽東京都　隅田小（墨田区）　松丘小（世田谷区）広尾高（渋谷区）　明治第一幼稚園（葛飾区）　成瀬中央小（町田市）　成瀬台小（町田市）　旭が丘小（日野市）　福生第六小（福生市）　第四小（東大和市）▽神奈川県　永野小（横浜市都筑区）　大沼小（相模原市南区）　馬堀小（横須賀市）　船越小（横須賀市）▽寄小（松田町）▽長野県　吉田小（塩尻市）岸野保育園（佐久市）▽静岡県　北幼稚園（三島市）▽三重県　厚生小（伊勢市）　島ケ原小（伊賀市）▽滋賀県　長浜小（長浜市）草津小（草津市）北野幼稚園（野洲市）▽大阪府　山田第五小（吹田市）北田小（吹田市）▽兵庫県　白金小（猪名川町）▽鳥取県　北条小（北栄町）▽岡山県　倉敷市立西中（倉敷市）早島幼稚園（早島町）▽山口県　小野霧丘小（北九州市小倉北区）西小倉小（北九州市小倉北区）▽福岡県　長崎商業高春日南小（春日市）玄海中（宗像市）▽長崎県　長崎市（長崎市）上山小（諫早市）▽大分県　大志生木小（大分市）

ベルマーク運動に参加して20周年！
クレハは、1996年からベルマーク運動を通して教育機関や福祉団体を支援しています
ベルマークは開封部分（あけ口）の左下！
ベルマークが見やすくなり
ミシン目も入って切り取りやすくなりました
ベルマーク番号10 見本 1.5点 NEW クレラップ
引き出しシール ここに貼る
ラップが巻き戻ってしまったら 引き出しシールでラップの端を見つける。つめ、刃物は使わない。
ここを押さえて！
使用方法 ❶フタを開ける ❷フルッとカット
刃に注意
開け口
※新パッケージは2016年4月より順次出荷予定
ベルマークを集めよう！
30cm×50m 4点　22cm×50m 3点　15cm×50m 2点　30cm×20m 1.5点　22cm×20m 1.5点　15cm×20m 1点
クレハ ベルマーク　検索
http://kureha-bellmark.jp/
株式会社クレハ　リビング営業統括部　〒103-8552 東京都中央区日本橋浜町 3-3-2　TEL.03-3249-4657

22万点を石巻小へ

大阪・南部朝日会

大阪府南部の朝日新聞販売所（ASA）でつくる大阪府南部朝日会が、東日本大震災に被災した宮城県石巻市の石巻小学校にベルマーク22万6844点を贈りました。3月15日、会長の竹松勝明さんと販促委員長の木下博史さんらが贈呈に訪れ、佐藤文夫校長に目録を手渡しました。

読者から1年かけて集めた大量のマークを仕分けるため、新聞折り込みチラシで昨夏からボランティアを募集し、24人が参加しました。アンケートでは3分の2が次回もしたいと答えたそうです。

佐藤校長は「みなさんが1枚1枚大切に集めたベルマークを、このように支援していただき感謝しています」と話しました。

ベルマークを担当するPTA文化教養部部長の阿部久美子さんは「郵送や手渡しでたくさんのマークをいただき、本当にありがたいです」と話しました。ベルマーク活動は、普段なかなか集まれないPTA同士が交流する場にもなっており、楽しみながら取り組んでいるそうです。

石巻小ではみんなが専用のベルマーク封筒を持ち、クラスごとに毎月回収し、ハンコを押して返しています。整理集計には、PTA会員20人が月に1回集まり、1時間半ほど作業します。ベルマーク預金で買い物をすると支援につながる仕組みを生かして、これからも備品をそろえていきたいそうです。

阿部さんは「もうすぐプールを改修するので、まずはその備品を買いたいと思います」と意気込みを語ってくれました。

◇

大阪府南部朝日会は、約5年前からベルマークの回収を始め、地域の学校に寄贈してきました。被災地に何かできないかとの思いから、積極的にマーク収集に取り組んでいる石巻小学校に贈ることにしました。